

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2019年2月6日

社員の声を活かし、 柔軟な働き方の実現に向けてテレワーク制度導入 ～仕事とコミュニケーションを可視化、BCPにも有効～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、働き方改革のテーマの一つである柔軟な働き方の実現と事業継続計画（BCP）の強化を目的とし、三谷産業の全社員を対象とするテレワーク制度を本年2月1日より正式導入しました。

当社では、以前より社員のワークスタイル変革を掲げており、その施策の一つとしてテレワーク制度導入を検討してきました。昨年5月に社員アンケートを実施したところ、柔軟な勤務体系の整備を求める意見があったことから、昨年8月にトライアルを開始し、正式導入に向けて課題検証やアイデア抽出を進めました。

そしてこの度、トライアルを通して得られた社員の声をヒントに、課題への対応を進め、BCPにおける有効性なども確認できたことから、正式に制度の運用を開始しました。

■テレワーク制度導入の背景と利用シーン

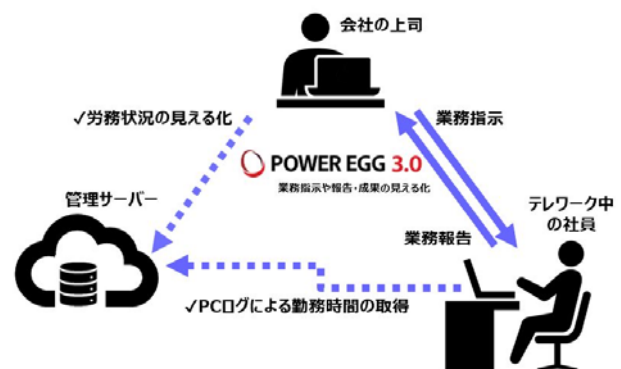
昨年5月に、全社員向けに組織風土に関するアンケートを実施した際に、複数の社員からワーク・ライフ・バランスの向上や時間の有効活用策として、働き方の選択肢を増やして欲しいとの意見が寄せられました。

そこで、トライアルでは三谷産業の全社員の中から希望者を募集し、全社員の1割強に当たる60名が、延べ313回、テレワークを実施しました。社員の反応として

は、「通勤時間が削減できたことで家族と過ごせる時間が増えて嬉しい」「電話や話し声のない静かな環境で集中しやすい」など好意的な意見が多い一方で、仕事環境やツール、コミュニケーションにおける不便・不都合などの課題も出てきました。

しかし、回数を重ねるごとに仕事の進め方の工夫やノウハウが貯まり、課題も徐々に解消されました。また、セキュリティや労務管理面でも問題なく運用できることも確認できました。

テレワークによる通勤時間の削減は、ワーク・ライフ・バランス面で時間の有効活用につながるるとともに、例えば保育所のイベントなどに参加する際、従来であれば丸一日の休暇を取得していた社員が、テレワークを活用すると半日は自宅で勤務できるようになりました。BCPの面では、台風などの自然災害時に、事前にテレワークに切り替えることで、社員の安全を確保しながら事業活動への影響を軽減することができました。



■「POWER EGG」を軸とする ICT ツールの活用

導入の検討段階では、上司による「業務進捗の把握」と「勤務時間の確定」に不安がありました。しかしその双方を ICT ツールの活用で見える化できたことが、導入に踏み切った大きなポイントとなりました。

三谷産業グループで導入している、当社子会社のディサークル株式会社が開発するソフトウェア「POWER EGG」は、グループウェアやワークフロー、Web データベースなどの機能を備えており、幅広い業務をペーパーレスで効率的に遂行することを可能にしています。テレワークで上司とメンバーが離れていてもそれぞれの職務権限に応じた業務指示ならびに業務遂行が可能です。また、申請・承認プロセスや業務状況が可視化され、チーム内でタイムラグなく円滑に業務を進めることができます。

労務管理の観点では、PC ログの自動取得により、社員の日々の勤務時間を正確に記録できています。

■ダイバーシティ時代の「働き方改革」に向けて

当社では、これまでも社員のライフステージに応じた多様な働き方を支援する制度を整備してきましたが、ダイバーシティ時代の「働き方改革」の推進としては、まだ緒に就いたばかりです。

今後も、社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、社員が安心していきいきと働ける職場環境づくりを目指してまいります。

■テレワーク制度 概要

●対象者

三谷産業の全社員（順次、子会社へ展開予定）

●回数

終日テレワークは上限月 8 回

（育児・介護・病気治療等の事情がある場合はその限りではない）

●勤怠管理の方法

始業・終業時の上長とのコミュニケーションおよび PC ログの自動取得

●働き方の選択

既に制度化した時差勤務制度や短時間勤務制度とテレワーク制度を組み合わせた利用が可能

●勤務場所

自宅、社員寮併設サテライトオフィス、会社が認める外部施設ほか

(補足情報)

【POWER EGG について】

POWER EGG は、「気づき」と「つながり」をコンセプトにした統合型コラボレーションツールです。最近では、働き方改革を推進する企業、特に地域金融機関における導入実績が急増し、2018年12月末時点で、1,309社（自治体：78団体 金融機関：35行庫を含む）約417,000ライセンスの販売実績となっています。「業務生産性の向上」「決裁の迅速化」「業務プロセスの見える化」「ペーパーレス化によるコスト削減」の4軸における導入効果が表れ、導入企業から非常に高い評価と満足をいただいています。

URL：<https://poweregg.d-circle.com/>

※POWER EGG は、ディサークル株式会社の登録商標です。

【ワーク・ライフ・バランスの向上のために当社で導入している制度例】

病気治療と仕事の両立支援制度

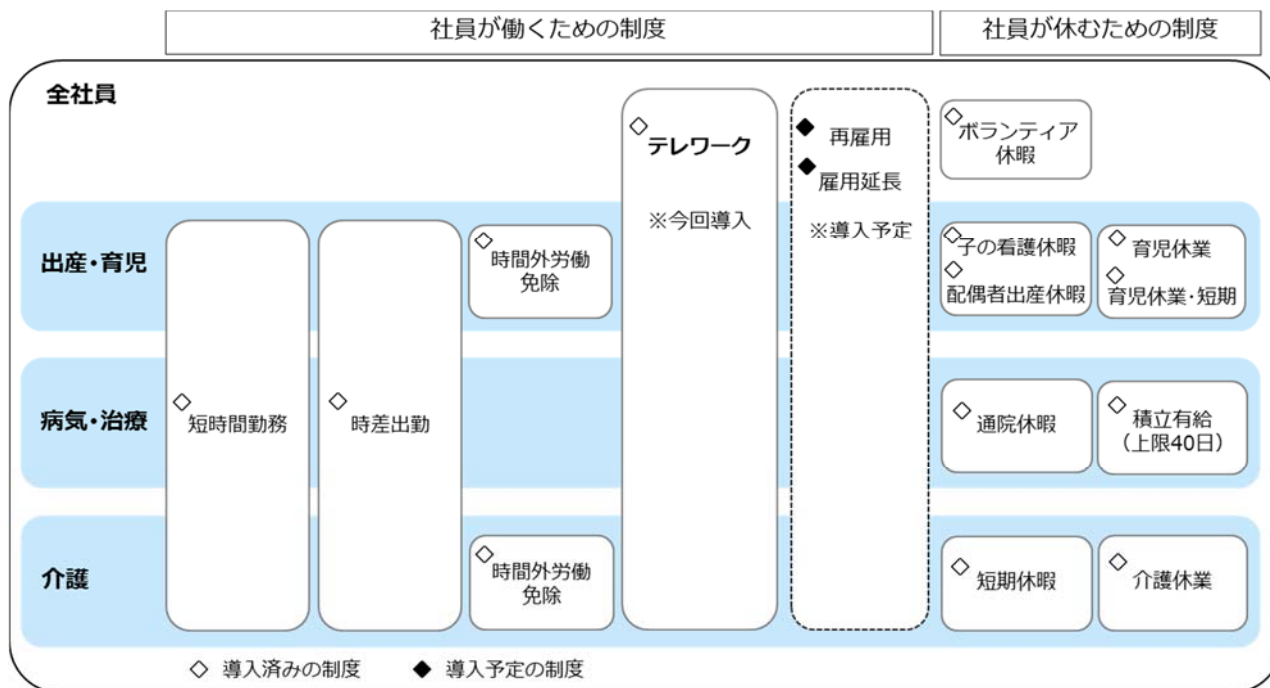
3大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）または難病法に基づく指定難病に罹患する社員を対象に、柔軟な勤務形態を設定できる制度を整備しました。加えて、治療のために長期入院・自宅療養が必要となり一定期間休業する場合に、未消化分の有給休暇を、所定日数に追加で取得できる制度を新設しました。個々の治療状況に応じた働き方を選択できます。

時差出勤制度

家族に未就学児（小学校就学前まで）・要介護認定者がいる社員、重篤な病気治療・指定難病に罹患する社員について、通常の始業/終業時間(8:30/17:00)の前後1時間30分の間で30分間隔での時差出勤を認めるものです。(7:00～10:00の間で出勤、1日7.5時間の就労を所定労働時間とする。)

ボランティア休暇制度

4月1日から翌3月31日までの1年間で一人当たり5日の取得が可能であり、取得単位は1日とし、分割して取得することができます。休暇中の処遇は有給とし、所定労働時間の勤務に対して支払われる通常の賃金を支給します。



主な制度と対象社員の関係図

< 本件に関するお問い合わせ先 >
 三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部
 TEL : 03-3514-6003